

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2026年3月31日

事業所名: 児童発達支援 ブLOSSAMジュニア 大塚・帝京大学駅前教室

対象人数(保護者)18人 回答者数 12人 回収 66.7%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10			2	運動する場所と静かに遊ぶ場所が別れているのが良い。 教室がきれいだと感じます。	今後ともさらに工夫をして、宿題などの学習面や療育面でも分けられるように工夫する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1		1		個々のおこさまへの支援について、HUGのサービス記録だけでなく、電話などで具体的に進捗状況をお伝えする。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		1		支援プログラムを事業所HPに掲載するなどし、保護者がいつでも閲覧できるような方法を考えたい。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	12					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1				
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1				
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				休日に調理、外食、お出かけ等楽しみが多く、いろいろな体験ができてありがたいです。 楽しい企画をしてくださっています。	
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1		4		児童館での交流等はあったが、近くの園などとの交流会も機会を作れるようにしたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	3		家族が参加できる研修や情報提供の場を設定できるよう、職員も専門的研修等を行い準備していく。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	2			今日の様子を伝えてくれ、丁寧に対応してくれる。	
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1			時折、助言をしていただくことがある。定期的ではないが、少し早くお迎えに行き、面談を設けてくれる。	今後は、家族支援を増やしていき、情報共有の場を定期的にもてるように工夫していく。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2		1		職員全員が利用者(保護者・お子様)のニーズや願いを共有し、共感的に支援できるように心掛ける。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6		3		年末に交流会が一度だけできた。今後は小規模でも機会を増やすようにプログラムしたい。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2				
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1				
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				2	マニュアルを作成し、事業所HPに掲載するなどし、保護者がいつでも閲覧できるような方法を考えたい。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				1 訓練を行った日には様子を教えてくれる。	避難訓練は行っているが、周知できていないようなので、HUGや保護者とのやり取りライン等でお知らせする。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	10				2	安全確保の計画についても、事業所HPに掲載するなどし、保護者がいつでも閲覧できるような方法を考えたい。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	11				1	
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	12					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				新しいプロッサムも楽しみ、と言っていました	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	12				イベントなども多く、休日には公園などに連れて行ってもらえてありがたいです。	

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。